

# お茶の水地理

第39号

1998年

---

## 論説

- 地域における経験的規則性と固有性の緊張関係  
—計量地理学による韓国研究の事例を通して— 水野 勲 1
- 東京都における防災性に着目した公共緑地整備の評価  
—地理情報システムを利用した地域防災性評価を基礎に— 山本 佳世子 13
- 埼玉県における初期の戦後開拓(1945-1955年)と旧軍用地 松山 薫 30

## 短報

- 「ういろう」考 式 正 英 42
- 『「総合的な学習の時間」(仮称)』と地理学教育 田宮 兵衛 45
- 蕨塚台地の灌漑水路と農業土地利用の変化 瀬戸 玲子 51
- 日本における農業・農村の動向と地理学の対応 新井 桂子 65
- 韓国社会と外国人労働者問題 若林 香名 75

## 随想

- 「弘法は筆を選ばず、編集者はワープロを選ばず」  
—テキスト形式でお願い— 千歳 壽一 87
- 卒業50周年に想う 貝山 久子 88
- ソグネフィヨルドを訪れて 小池 とみ子 90
- 水の流れる高さ —また、交わる川— 石田 裕子 94

## 修士論文要旨

96

## 卒業論文要旨

110

北の大地から(1997年度地理学野外調査報告) 佐藤 朋子 131

地理学コースだより—1997年度— 132

---

お茶の水地理学会

お茶の水女子大学 地理学教室内